

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ウエルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・ 事業所 の特徴	家訓「あるがままに 楽しく ゆったりと」のもと、小規模で多機能なサービス提供を心がけ、細やかな対応を実践している。登録定員 29 名の内 1 日 15 名が通い、小規模である特徴を生かし、利用される方がこれまでの地域との繋がりを無くさず、習い事や地域のサロンなどを継続できるよう支援している。また、顔の変わらないケアが生かされ、地域に出た時に相談や要望が出るような関係性も出来ている。認知症になつても本人が望む暮らし可能な限り継続され、家族・地域・事業所が協力をして、本人の安心した暮らしを継続できるように、今後もサービス提供を行っていく。					
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 さわやか憩いの家二日市	管理者	紺田 光二							

	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	0人	1人	0人	6人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・サービス評価の総括表で考えた改善計画を意識して取り組めるように、スタッフへの開示をし、改善していく。	・統括票はスタッフへ回覧したが、掲示などはしていなかったので、改善計画の実践まではいかなかつた。		・スタッフが周知し実践できるように、回覧・スタッフルームへの掲示を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続きコロナの感染予防を行いながら、事業所へ来ていただけるような取り組みを考える。希望があった時には見学の対応を行う。	・今年もコロナ感染予防の観点より、事業所へ地域の方を呼んでの行事などは出来なかつた。見学などは感染予防を行ってきましたが、地域運営推進会議参加メンバーへは行えなかつた。	・事業所へ入る機会がなく「わからない」という返事が多かつた。	・感染予防を引き続きしながら、地域の行事や地域運営推進会議を通して出入りしやすい環境を整えていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所より地域に出ていくことはもちろん、地域の方が憩いの家に来ていただけるように、偶数月の第 2 土曜日に喫茶いこいを開催する。	・今年度もコロナ感染の予防の観点より「喫茶いこい」の開催は見送っている。	・桜見会、夏祭り、防災訓練を予定しているので是非参加してほしい。	・公民館に来年度行事の年度計画を確認し、事業所の行事計画へ入れ、スタッフも参加する。
D. 運営推進会議を活かした取組み	・地域運営推進会議では事業所の報告ばかりになっているので、地域からの話が聞けるような工夫が必要。	・今年度も地域運営推進会議をリモートで行い、顔を合わせての会議が出来ている。区長さんからは地域の行事の話しを聞けている。	・顔が見られるリモートでも入居者・利用者さんの笑顔が見られてよい。	・来年度からは感染予防をして、事業所へ集まって地域運営推進会議を行いたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・実施した訓練内容や様子は地域運営推進会議で報告させていただき、意見を頂く。 ・事業継続計画 (BCP) の作成。	・感染、防災訓練は半年に一回行い、その様子も写真を交えて報告を行つた。 ・事業継続計画 (BCP) の作成は完了している。	・動画や写真を通して訓練の様子が見れたので参考になる。	・今年度は事業所の感染訓練、防災訓練の報告を続けていき、地域の防災訓練に参加をしたい。 ・事業継続計画 知恵市市長の継続 高齢者支援課

-5.3.31

